



# 区議会だより

第166号

2004年(平成16年)4月20日  
江戸川区議会発行  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-6736  
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



## 第一回 定例会 平成16年度各会計予算案を可決



江戸川水門

「生きる喜びを実感できる都市」の実現を目指す総額3,022億円  
意見書3件を関係機関に提出

平成16年第一回定例会は2月17日から3月17日までの30日間の会期で開かれました。  
この定例会には区長から、平成16年度各会計予算案を含む29件の議案と同意2件、報告2件が提出されました。  
各会計予算案については、予算特別委員会を設置し、今後の区政方針や諸施策などについて詳細に審査を行いました。  
これらの議案は、いずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「訴えの提起、和解及び損害賠償額の決定に関する区長の専決処分について」を含む6件の議案が提出され、継続審査となった2件を除き、それぞれ可決されました。  
意見書は関係機関に送付しました。  
この定例会の会議録は、6月下旬にできあがります。詳細は区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

### 区議会ホームページを開設しました

URL <http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

区民の皆さんに、区議会について理解を深め、より身近に感じていただくため3月31日にホームページを開設しました。

このホームページは、ユニバーサルデザインのコンセプトに基づき作成しています。音声読み上げソフトへの対応や背景色、文字色、文字の大きさに配慮した構成になっています。

どうぞ、ご利用ください。

主な内容…本会議の会議録検索や区議会のしくみ、区議会のしごと、議会用語の解説ほか



### 定例会日程

2月17日	議案上程、委員会付託
18日	議案審査
19日	委員会報告及び表決、代表質問
20日	一般質問
23・24・26・27日	予算審査
3月1・2・4・8日	
9日	議案審査
10日	請願・陳情等の審査
17日	委員会報告及び表決

## 皆さんから出された請願・陳情

○今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの	付託委員会名
22号 (仮称)グローリオ船堀マンション建設に関する陳情	建設委員会
23号 仮称「ゼファー北小岩共同住宅新築工事」に関する陳情	建設委員会
24号 東京都が提案している「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業の再構築案」に関する請願	福祉健康委員会
25号 (仮称)榎本ビル建設についての陳情	建設委員会
26号 シベリア問題解決のための立法を求める意見書提出に関する陳情	総務委員会
27号 仮称グランシティ南 西建設に関する陳情	建設委員会
28号 「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」提出を求める陳情	生活振興環境委員会
29号 建築中の三井マンションの家庭ゴミ排出方法に関する陳情	生活振興環境委員会
30号 夜間中学校の教職員定数削減に反対し撤回を求める陳情	文教委員会
31号 「菊地胃腸科外科並びに診療所建て替え、新築工事」に関する陳情	建設委員会

○今回の定例会で結果が出されたもの	結果
7号 クラス増設等の改善措置についての陳情	不採択(37:8)
11号 戦闘状態の続くイラクへの自衛隊派遣を見合わせることを求める意見書に関する陳情	不採択(31:14)
14号 江戸川区で30人学級の実施を求める陳情	不採択(31:14)
16号 戦闘状態の続くイラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書に関する陳情	不採択(31:14)
23号 仮称「ゼファー北小岩共同住宅新築工事」に関する陳情	※趣旨採択 (全会一致)
24号 東京都が提案している「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業の再構築案」に関する請願	採 択 (全会一致)

※議会としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どおりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。

○今回の定例会で取り下げられたもの
22号 (仮称)グローリオ船堀マンション建設に関する陳情

## 議員から出された議案で結果が出されたもの(全会一致)

意見書は各関係機関に送りました

○訴えの提起、和解及び損害賠償額の決定に関する区長の専決処分について

○民間社会福祉施設サービス推進費補助事業再構築案に関する意見書  
〔東京都知事 あて送付〕

○65歳まで働ける雇用環境の整備を求める意見書  
〔衆・参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣 あて送付〕

○安定した公的年金制度の確立等に関する意見書  
〔衆・参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣 あて送付〕

## 区長から出された議案

- 予 算
  - ※ ・平成16年度江戸川区一般会計予算
  - ※ ・平成16年度江戸川区国民健康保険事業特別会計予算
  - ・平成16年度江戸川区老人保健医療特別会計予算
  - ・平成16年度江戸川区用地特別会計予算
  - ・平成16年度江戸川区介護保険事業特別会計予算
  - ・平成15年度江戸川区一般会計補正予算(第5号)
  - ・平成15年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 条 例
  - (新 設)
    - ・公益法人等への職員の派遣等に関する条例
    - ・江戸川区駐車場建設金融資産基金条例
    - ・江戸川区中小企業高度化促進特別資金貸付条例
    - ・江戸川区 西沖開発審議会条例
  - (廃 止)
    - ・江戸川区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例
    - ・江戸川区監査委員の給与等に関する条例
    - ・江戸川区情報公開条例
    - ・江戸川区事務手数料条例
    - ・江戸川区立学童クラブ条例
  - ※ ・江戸川区国民健康保険条例
  - ・江戸川区女性福祉資金貸付条例
  - ・東京都市計画事業平井七丁目北部土地区画整理事業施行規程
  - ・江戸川区「特別区道」道路占用料等徴収条例
  - ・江戸川区公共溝渠管理条例
  - ・江戸川区立公園条例
  - ・幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例
  - ・江戸川区立図書館条例
  - ・江戸川区勤労福祉会館条例等
- 契 約
  - ・仮称江戸川区東 西地区区民施設新築工事請負
- その他
  - ・特別区道の路線認定
  - ・特別区道の路線廃止
  - ・訴訟上の和解
- 同 意
  - ・江戸川区収入役の選任同意
  - ・江戸川区監査委員の選任同意
- 報 告
  - ・専決処分した事件の報告及び承認
  - ・議決を得た契約の契約変更

※印はすべて 賛成39(自由民主党、公明党、市民クラブ、一人の会、無所属クラブ)  
反対 6(日本共産党)  
それ以外はすべて全会一致

会派の略称 市民クラブ=市民クラブ・ネット民主無所属

## 第一回臨時会、第二回定例会開催予定

### 第一回臨時会

5月20日(木)

### 第二回定例会

6月15日(火) 本会議(議案上程、委員会付託)

17日(木) 本会議(一般質問)

18日(金) 常任委員会(議案審査)

21日(月) 各常任委員会(請願・陳情等の審査)

23日(水) 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。

※傍聴の手続きは、本会議は開催当日の正午以降、各委員会は開催時間前に、区議会事務局で先着順に受け付けています。なお、定員がありますので区議会事務局までお問い合わせください。

**5662 - 5556(庶務係)**

# 区政への質問

2月19日に代表質問、20日に一般質問が行われ、国の三位一体改革が本区財政に与える影響やIT推進による新しい区民サービスの提供、これからの障害児教育、ディーゼル車への助成などのほか、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載しています。

## 代表質問

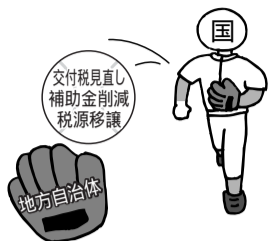
### 区民の幸せにつながる健全財政の一層の推進



自由民主党  
すが 精二

**問** 財政に関する問題について  
(1)国の「三位一体改革」は本区の財政にどのような影響を与えるのか。補助金削減に対する財源措置の見通しは。

### 三位一体改革



(2)特別区税、国民健康保険料、介護保険料の滞納額の現状を。  
(3)徴税の新たな取り組みの見通しは。

はどうなっているのか。  
**答** (1)過剰反応せずに正確な情報を提供する。  
(2)万全の配慮をする。  
(3)自主管理の推進や食品衛生協会への加入率向上を求める。

**問** 暮らしの安全について  
(1)各地域での区民による防犯活動を詳細に把握し、警察、行政とのネットワークづくりを。  
(2)防犯活動へのサポートシステムの充実を。

**答** (1)連合町会単位の活動がされており、警察も積極的に参加している。相互の連携を深め対策を強化する。  
(2)24時間パトロールの情報を地域に提供している。支援を進める。

**問** 環境問題について  
(1)エコセンター開設の目的と基本理念を。  
(2)区民が取り組む行動指針や数値目標を示せ。  
(3)エコハウスの補助金活用状況と環境に対応した街づくりの考えを。

**答** (1)環境問題への学びや行動の活動拠点。  
(2)実践方法をエコセンターで探求していく。  
(3)利用がない。区施設などでモデルをつくる。

**問** 教育問題について  
(1)教育改革について、区民の反応と将来の課題について伺う。  
(2)学校週五日制の趣旨

に基づいた子どもたちの取り組みを実現させるための対策を。  
(3)学力低下に対する新たな施策を。  
(4)中・高一貫教育についての取り組みを。  
(5)家庭と学校との教育方針のズレを正す効果的な施策を。

**答** (1)「学力向上推進プラン」を策定し、きめ細かな指導を行う。  
(2)地域、家庭、学校の教育力の結集が必要。  
(3)小学校における教科担任制や「共育パートナー事業」を展開する。  
(4)中高連携を広げ、健全育成につなげたい。  
(5)PTAなども強化し、健全育成を進めたい。

### 新しい住民サービスと総合人生大学について



公明党  
渡辺 清一

**問** 平成16年度予算案と本区の財政状況について  
(1)予算編成にあたり区長として、厳しい客観的諸状況の中、将来を見据えて、どのような方針と決意で取り組んだのか。  
(2)今後の高齢化の進行や人口増加等による行政需要の増大に加え、

国の三位一体改革や都の第二次財政再建推進プラン等の歳入不安が残る中、今後も安定的な健全財政を維持していくための決意や方策を聞かせてほしい。  
(3)これまでの健全財政への取り組みや成果、また、今後の方針や区の将来像等について、広報などを用いて説得力のある説明をするべきである。

いきたい。  
(3)区民に対し財政状況を、適切な時期に分かりやすくお知らせする。  
(4)福祉の堅持は財政が安定しているからこそ可能。健全財政の推進を最重点に考えたい。



**問** 区民サービスの拡大について  
(1)IT化による電子自治体への構築が進む中、どのように付加価値を創造し、住民の目に見える具体的なサービスを提供していくのか。  
(2)各種納付金、料金の収納率アップに有効なコンビニ納付の検討を。  
(3)区役所の各セクションが相談機能を持ち、複雑化した問題に対応できる組織をつくってどうか。

**答** 完成した庁内LANを活用して業務を合理化する段階に差し掛かっていく。また電子申請の実施などにより住民の利便性を高める一方、生み出される職員の余力を対面サービスに振り向けていくことも可能となる。  
(2)割高な手数料やプログラム開発経費等の問題があり、十分な検討を要する。  
(3)虐待などの複雑化した相談については、専門の相談窓口を設置し、きめ細かく対応し

(4)今後も本区の福祉水準を後退させないこと。  
**答** (1)良い施策はしっかりと堅持し、新たな課題にも取り組んでいく。このことを可能にしたのは、この数年の行財政改革の成果である。  
(2)三位一体改革や不況などの財政圧迫要因があり、今後の財政状況は予断を許さない。民間活力の活用やIT化の推進によりコンパクトな行政を目指し、安定した施策を展開して

ている。今後、さらに工夫していきたい。  
**問** 総合人生大学について  
(1)進捗状況と開学に向けた区長の構想を。  
(2)修了者に資格付与の検討を。  
(3)高い品格、教養が身に付く内容にすること。

**答** 学びの成果を社会に活かし、人生の価値も高められる実践活動として取り組みたい。趣味の領域ではなく地域貢献度の高い学習を旨とし、学習や実践の方法についても画一的にせず、多様なスタイルで展開していきたい。10月の一部開学を目指し準備をしている。

### 障がい児教育・移送サービス・臨時職員のあり方について



市民クラブ・ネット民主無所属  
藤居阿紀子

**問** これからの「障がい児教育」について  
(1)本区ではこれまで、障がいを持つ子ども一人ひとりにとって、より良い教育環境を整えることが必要との視点から、様々な取り組みが進められてきた。しかし、「就学時健康診断」やその後の「就学相談」において

障がい児教育の現状を。また、障がいを有する子ども一人ひとりにとって、より良い教育環境を整えることが必要との視点から、様々な取り組みが進められてきた。しかし、「就学時健康診断」やその後の「就学相談」において

養護学校や心身障害学級への通学が強く勧められるという事実があるのではないかと。教育を受ける場を選択する権利は、誰に対し保障されているのか。

(2) 特別支援教育をよりインクルーシブな教育に近づけていくためには、当事者である子どもや保護者はもちろんのこと、普通学級の教師、保護者、児童・生徒も交えた十分な議論が必要である。共に学び、共に育つという教育の実現に向け、教育委員会として、どのような学校現場の体制づくりを進めるのか。

(1) 就学指導委員会での指導、助言を踏まえ、最終的には保護者の意向に基づいて就学先を決定している。

(2) 各学校に教員で構成する校内体制委員会を設置し、交流教育を充実するとともに、障害のある子どもの教育に対する理解を深められるよう今後さらに支援体制の整備を図る。

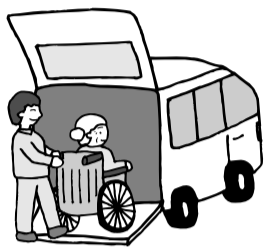
「移送サービス」の充実に向けて

(1) 「移送サービス」は移動が困難な方々にとって、生活を営むためには欠くことのできない重要なものである。本区においても地域に

必要なサービスとして定着させる必要がある。そこでニーズに対する実態調査を行うこと。

(2) 「移送サービス」の事業者を窓口や冊子などで紹介すること。

(3) 今後、高齢化がますます進んでいく中、事業者や市民との協働で検討をすすめる、早急に「移送サービス」事業に取り組みこと。



(1) 必要とする人の実態調査について、けが人や妊婦などの把握は困難である。

(2) PRについては徹底していく。

(3) 「江戸川元気プロジェクト」において、移送サービスの課題を含めて検討を行っているので、今後さらに研究を深めていきたい。

臨時職員や派遣労働者の採用のあり方について

(1) 区の臨時職員や派遣労働者の採用については、労働者の採用についての方針はどのようになっているのか。仕事面での区別や配置について

の考え方はあるのか。(2) 守秘義務や責任の所在をどのように考えているのか。

(1) 現業系職員については、民活によって置き換えていく基本方針である。将来的には、職員は管理部門を中心に区政を担当していく。アウトソーシングの考え方として、ITなどの専門性の高い人材は派遣などで、正規職員の産休代替や繁忙期の対応には臨時職員を充てている。

(2) 守秘義務については、契約等の中でしっかりと担保している。

(1) 必要とする人の実態調査について、けが人や妊婦などの把握は困難である。

### 過去最高518億円の積立は福祉、教育の充実に



地方財政問題

(1) 国の「三位一体改革」は、福祉・教育を保障する国庫補助の削減につながり、反対すべき。

(2) 都の「第二次財政再建推進プラン」と「第二次都庁改革アクションプラン」は、超高層ビルと大型幹線道路中心の「都市再生」を聖域扱いし、福祉や教育分野から大きく手を引く方向。切り下げをや

め、都民の暮らしを守るよう求めること。(3) 区財政。職員の削減や民間委託等で計上した過去最高、総額518億円の積み立て基金は、福祉、教育の充実のために活用すべき。

(1) 反対すべきは反対し、進め方についても国に意見を述べている。基準を変えずに、削減だけするならば、ツケを自治体に回すだけ。

(2) 都の財政再建努力であり反対しない。都区で冷静に相互に納得のいくような協議をする。

(3) 区のサービスを民活を活用して行うことは時代のすう勢。民間自体がそれを望んでいる。積立金は厳しい財政状況が予測される中、当面必要である。

ディーゼル車対策。NOxとPM両方を低減できる装置の開発は難しいと、言い続けてきた国とメーカーの責任は重大。今後PM減少装置を取りつけた車でさえ、車検証の交付を受けられなくなる事態になる。

(1) NOxとPM両方を低減できる装置を、希望する車すべてに装着できるように、国とメーカーの責任を果たさせるため、自治体から強力な働きかけを。

(2) PM減少装置を装着した車が、車検証の交付を受けられない社会問題が起ころうとしているという認識を持ち、業者が安心して仕事を続けられるよう、また、排ガス公害をなくすためにも、区として買い替えのための助成制度の検討を。

(1) 国とメーカーの責任は当然。区長会も、国や業界に対して、意見をいつてきた。

(2) 「パワーアップ融資制度」を、新たに本人利子負担0.5%とする。環境、公害に対する配慮としての、車買い替えのときにも活用をしていただきたい。

障害を持つ子どもたちの豊かな教育を目指し、心身障害学級設置の中学校の増設を。区立中学校に設置されている障害学級は、33校中わずか4校、12.1%。東京都の22.2%、全国の59.2%という設置率からみても低い。適切な対応ができる体制をつくるためにも、障害学級の果たす役割は大きく、その充実が不可欠。

必要に応じ増設については検討していく。

青少年が安心して居場所としてのスケートパークの設置を。

議会でも趣旨採択されており、若い方々の要望に応えたいと、適地を探している。騒音の問題や利用時間、住民の理解等、条件があるが、これからも可能性を求めていきたい。

### スケートパーク



議会でも趣旨採択されており、若い方々の要望に応えたいと、適地を探している。騒音の問題や利用時間、住民の理解等、条件があるが、これからも可能性を求めていきたい。

### 一般質問

区民生活を守ると共に、青少年に夢と希望を



羽田空港再拡張にともなう航空機騒音問題について質問する。国土交通省から提案された飛行ルートについて、区長はどのような考えで臨むのか。

区としては冷静に解析を行い、区民に都合のないよう、最善の努力をしていく。

青少年の翼事業に

参加できない多くの青少年のために、国際交流を目的とした諸外国の青少年を招へいするべきである。



あらゆる交流を拡大し、青少年が国際的感覚を身に付けていくよう努力をしていく。

本区の不登校児童・生徒数は都内で上位を占めており、充実した健全な学校生活を送るべき子どもたちが学校に行けないことは大変残念なことである。区をあげて抜本的な対策を講じるべきである。

不登校対策会議を発足させ、平成16・17年度で不登校の半減を目指す。16年度からは各学校が個別計画を作成し、地域人材等の協力を仰ぎ、相談・指導体制を確立していく。

ホテルシーサイド江戸川の今後の方向性として、中小企業の研修センターや国際交流センターなどの多目的な利用を探索してはどうか。

区民皆で支える施設であり、PRも含め

て盛り立てていこうと  
いう気運を高めていく。  
 問 本一色地域にコミ  
ユニティ会館の建設を。  
 答 適切な時期に相談  
させていたいただきたい。

**福祉活動に対する表彰  
喫煙対策基本方針策定**



倉内まこと  
公明党

問 福祉ボランティア  
に顕彰制度の創設を。  
 答 探求していく。

問 喫煙対策基本方針  
を作成し受動喫煙防止  
に積極的な取り組みを。  
 答 早急に明快な方針  
を打ち出したい。

問 「広報えどがわ」で  
簡易な防災手帳を発行  
し、防災意識の高揚を  
図ってはどうか。  
 答 いろいろな手立て  
を考えていく。

問 バス路線の充実  
 (1) NPO 法人による運  
行の研究を。  
 (2) 臨海病院へのアクセ  
スと実態調査の結果を。  
 (3) 西地域のミニバス  
の検討を。



問 (1) (3) バス事業者と  
協議し、交通不便地域  
や迷惑駐輪解消のため  
にも実現したい。  
 (2) 改善に結び付けたい。  
 問 東西線荒川鉄橋の  
騒音対策と西 西駅の  
快速停車の検討経過を。  
 答 16年度から枕木交  
換工事を実施。折り返  
し運行やダイヤ管制方  
式の改良により運行本  
数を増やす。

**住民参加を促進し、  
地域活性化を**



田の上いくこ  
市民クラブ・  
ネット民主無所属

問 美化対策について  
 (1) 一定箇所ゴミ数量  
を調査し目標値設定等  
の工夫した取り組みを。  
 (2) ゴミ発生予防や啓発  
強化のため条例制定を。  
 (3) モデル地区の導入を。  
 (4) 「アダプト・プログ  
ラム」の導入を。



(5) 公共キャンペーンを。  
 答 一朝一夕には解決  
できない。共育・協働  
の姿をいろいろな場面

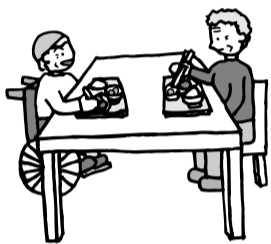
で創りあげていく。  
 問 ボランティア立区  
推進のさらなる充実に  
向けて  
 (1) ボランティアセンター  
について、メルマガによる  
情報提供や日曜、祝日  
の開庁など機能の強化  
を図るべきである。  
 (2) 活動資金援助や活動  
拠点提供、人材確保を。  
 (3) 区職員のボランティア  
活動への意識づけを。  
 答 (1) (2) 有効に機能さ  
せていくことは当然。  
 (3) 勤務外に社会奉仕を  
する職員を養成したい。

**介護保険・学童クラブ  
充実・小岩北口再開発**



藤沢久美子  
日本共産党

問 介護保険について  
 (1) ① 国負担割合の増を。  
 (2) 利用料負担軽減拡充。  
 (3) 国は特養等建設費補  
助削減を行わないこと。



(2) グループホーム増設。  
 答 (1) ① 25%に提案。  
 (2) 実施している。  
 (3) 区長会で要望した。

(2) 増設支援は行う。  
 問 子育て支援  
 (1) 公立保育園でゼロ歳  
児保育の実施を。  
 (2) 小学校一年生まで乳  
幼児医療費助成の拡充。  
 (3) 次世代育成支援を。  
 (4) すくすくスクール内  
学童クラブの充実  
 (1) 専用室二室の確保を。  
 (2) おやつ提供を。  
 (3) 正規指導員の配置を。  
 答 (1) 実施しない。  
 (2) 拡充しない。  
 (3) 区民と一体で策定。  
 (4) ① 確保しない。  
 (2) 適切な対応を図る。  
 (3) 適正に配置していく。  
 問 小岩北口再開発  
住民に丁寧な説明を。  
 答 理解を得て実施。

**障害者や女性の雇用  
機会を増やす民間委託**



田中 けん  
一人の会

問 「入札における企  
業格付け時の基準」に  
障害者や女性の雇用な  
どの社会貢献度の項目  
を設け、貢献度の高い  
企業に優先的な発注を。



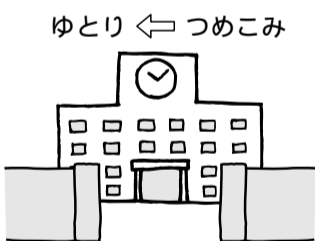
答 評価対象にするこ  
とも必要。研究したい。  
**「夢と希望のある街づくり  
の実現をめざして」**



斉藤 正隆  
自由民主党

問 教育について  
 (1) 学習指導要領の「ゆ  
とり」とは何か。  
 (2) 学力低下対策として  
教育特区申請や二学期  
制導入を提案する。  
 (3) 新学習指導要領は教  
えるべき最低限の内容  
であることが学校現場  
に徹底しているのか。  
 (4) 教員の指導力不足を  
解消するため、教員免  
許状の更新制度を。

問 教育について  
 (1) 学習指導要領の「ゆ  
とり」とは何か。  
 (2) 学力低下対策として  
教育特区申請や二学期  
制導入を提案する。  
 (3) 新学習指導要領は教  
えるべき最低限の内容  
であることが学校現場  
に徹底しているのか。  
 (4) 教員の指導力不足を  
解消するため、教員免  
許状の更新制度を。



答 (1) 「ゆとり」とは  
「遊び」のことである。  
 (2) 来年度、中学校では  
教員が土曜日に希望生  
徒に補習授業を行う体  
制づくりを検討中。こ  
れは特区でなくてもで  
きる。二学期制につい  
ては慎重に考えてい  
く。

(3) 周知徹底している。  
 (4) 指導力向上を図る取  
り組みを行っている。  
 問 北小岩の街づくり  
 (1) 西地区との南北格  
差についての見解を。  
 (2) 京成線立体化の促進  
と再開発事業を問う。  
 (3) 都市計画道路実現の  
見通しを。  
 (4) 桜堤の復活を。  
 (5) 江戸川護岸工事の進  
捗状況を。  
 (6) スーパー堤防計画の  
内容と見通しを。

問 小岩は最初に発  
展した地域であり、い  
い街が形成されている。  
 (2) 国庫補助等の手法で  
事業化するには拠点開  
発が必要。小岩の新た  
な発展には、地域をあ  
げでの取り組みが必要。  
 (3) 283号線は「第三次事  
業化計画」の期間で達  
成したい。  
 (4) 国土交通省と協議中。  
 (5) 10カ年計画で整備中。  
 (6) 都市計画道路事業と  
抱き合わせて考える。

問 がん検診の充実  
 (1) 乳がん一次検診にマ  
ンモグラフィの導入を。  
 (2) 子宮がん検診の対象  
年齢の引き下げを。



田中じゅん子  
公明党

**子どもたちの安心安全  
な環境づくりを！**

問 がん検診の充実  
 (1) 乳がん一次検診にマ  
ンモグラフィの導入を。  
 (2) 子宮がん検診の対象  
年齢の引き下げを。

(1) 本区の超音波検  
査も優れた方法。  
 (2) 厚生労働省の方針等  
を踏まえ検討していく。  
 問 子どもたちの安心  
安全な環境づくり  
 (1) 危機管理体制の確立  
など更なる安全対策の  
充実を。  
 (2) 小学校新一年生に防  
犯ブザーの貸与を。  
 (3) 地域住民の協力と  
様々な工夫を取り入れ、  
総合的な安全対策を。

答 (1) 防御意識の過剰  
教育は、子どもの教育  
との関わりの中で、非  
常に大きな問題。  
 (2) 家庭でできる努力。  
 (3) 大人が子どもたちを  
どう守るかを表現して  
いくことが抑止力につ  
ながると考えている。

問 「仮称・安心な明  
るい通り」を定め、街  
路灯の照度の改善を。



答 通りを決めて改善  
することは有効な方法。  
地域と相談をしたい。

# 予算特別委員会

予算特別委員会は、2月23日から3月8日までの間、一般会計と四つの特別会計の予算案について、慎重に審査を行いました。

一般会計の歳入の審査では、長引く景気低迷などにより、区税収入が減少していることから、税の公平性に鑑み、滞納削減に向けた更なる努力と、歳入の大きな柱である特別区財政調整交付金については、検討課題である清掃関連経費の協議を進める際には、強い姿勢で臨み、より一層の財源確保に努力するよう要望が出されました。

歳入の審査では、「共育」「協働」を実践するための施策や、福祉施策、子育て支援、健康施策、産業支援、都市基盤の整備、教育行政などについて、広範にわたり詳細な質疑が交わされました。

委員会での審査を踏まえ、3月17日の本会議で採決の結果、平成16年度一般会計予算案及び国民健康保険事業特別会計予算案は、賛成39・反対6、老人保健医療、用地、介護保険事業の各特別会計予算案は全会一致で、それぞれ原案のとおり可決されました。

なお、委員会に一般会計予算の歳入歳出の一部と総額について、修正案が提出され、否決されました。

予算特別委員会委員 (委員長 副委員長)	
◎ 荒井 てるお	佐々木 たか
○ 北川 ひろし	光山 み
小俣 のり子	安田 越
福本 光浩	吉田 辺
高木 秀隆	田片 山
河合 恭一	松 下
川瀬 やすのり	
須賀 清次	



予算特別委員会の様子

## 平成16年度 予算に対する 各会派の意見

### 自由民主党 (賛成)

我が国経済は、長期にわたる景気低迷の後、ようやく緩やかな回復の兆しが見えるものの、先行きは不確かである。このような経済情勢の下で、国も国債に依存する予算編成を余儀なくされており、三位一体改革も地方分権の推進という観点からは、好ましい方向性を示しているものの、国庫補助負担金の削減や地方交付税制度の見直しにともなう税源移譲は不透明な状況にある。

「働」の理念のもと、区民が安心して暮らせる「生きる喜びを実感できる都市」の実現に向けての努力が見られることから、平成16年度各会計歳入歳出予算案に賛成する。

#### 【主要要望】

- ◎特別区民税の徴収と国民健康保険料、介護保険料の滞納削減に一層の努力を。
- ◎財政調整交付金の仕組みを堅持すること。
- ◎青少年の翼事業は一層の拡充を。
- ◎平和大使派遣事業の成果を期待する。
- ◎職員接遇研修の充実。
- ◎広報はあらゆる媒体を通して分かりやすい情報の提供を。
- ◎ボランティアが活動しやすい環境づくりを。
- ◎総合人生大学の開学に向けて十分な準備を。
- ◎町会への加入促進に努力すること。
- ◎区役所本庁舎については、建て替えを視野に入れた検討を。
- ◎区民施設の将来像について十分な検討を。
- ◎えどがわ伝統工芸産学公プロジェクトの更なる充実を。
- ◎巡回パトロールは単なる「抑止力」をねらうだけではなく、犯罪を無くすという意気込みを持って行うこと。

◎エコセンターは区とNPO等の役割分担をしっかりと行い、実効のある仕組みづくりを。

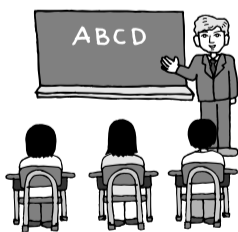
#### 【主要要望】

- ◎都区制度改革で未解決となっている清掃関係経費の財源配分問題は、納得のいく決着を。
- ◎子育てひろば事業は、医師等の人材を活用し、子育て支援の核となるよう、PRを含め大いに努力、工夫を求めたい。
- ◎寝たきり防止策として、区民健診の一層の拡充を。
- ◎ファミリーヘルス推進員等を活用し、生活習慣病などの予防医学の更なる充実を。
- ◎ショートステイやデイサービスの充実など、在宅介護の基盤整備に一層の努力を。
- ◎リズム運動などは、指導員等の人選や待遇について、時節に合った十分な検討を。
- ◎次世代育成支援対策事業については、十分な調査、研究を行い効果的な計画の策定を。
- ◎都の私立保育園へのサービスマン推進費削減について、軽減を求め、働きかけを。
- ◎児童館は名称を含め、中高生も対象にした施設への検討を求めたい。
- ◎すすくスクール事業は教育委員会と十分

な連携を行い、自信を持って実施すること。

#### 【主要要望】

- ◎生活保護の厳正な認定と適正な支出を。
- ◎メトロセブン建設基金を創設し、実現への姿勢を示すべきである。
- ◎まちづくりの有効な手法である地区計画を周知、徹底すること。
- ◎自転車のマナーに対する取り組みを。
- ◎駅前広場にも地下駐輪場の建設を。
- ◎違法駐輪対策の徹底。
- ◎緑化推進の大きな視点に立った施策の検討。
- ◎事故防止のため公園遊具の点検の徹底を。
- ◎荒川河川敷の中堤防側の有効活用を。
- ◎学校選択制の状況等を分析、検討し、特色ある学校づくりに生かすこと。
- ◎邦楽鑑賞教室の充実。
- ◎学力低下の懸念に対しては、本区独自の仕組みを確立すること。
- ◎ハロー先生の派遣授業の一層の拡充を。



◎教師がしっかりとした学びの姿勢を持つよう一層の指導を。

◎教育研究所は総合的学習や、すすくスクール等に対する協力体制の確立を。

#### 【主要要望】

- ◎すすくスクールは地域ボランティアを幅広く募り、全区民の英知と献身を十分に活用すること。
- ◎スポーツ施設のインターネット予約は携帯電話からも予約ができるようにすること。

### 公明党 (賛成)

平成16年度予算の審議にあたり、厳しい経済環境のもとで、環境との共生社会、子育て支援、高齢社会に対応した福祉施策の充実、将来にわたって住み続けられる快適で安心できるまちづくりの推進、産業振興策、教育改革、文化振興の充実など、どのように取り組んでいるか、さらには、本区の未来像を含めた施策はどうあるべきかなど多岐にわたって、論議してきた。

その結果、予算案に盛り込まれた各種施策に、引き続き区民生活を守り、支援しようとする努力が伺えるところから、各会計歳入歳出予算案に賛成する。

【主要要望】

- ◎特別区民税は地道な徴税努力を望む。
- ◎特別区民税等徴収嘱託員による徴収率の向上に期待する。
- ◎穂高荘、塩沢荘、ホテルシーサイド江戸川の更なる営業努力を。
- ◎職員の情報やコンビユーターを扱う能力の更なる向上を。
- ◎総合人生大学は意義ある大学となるよう万全の準備と計画を。
- ◎住民基本台帳カードについて、区独自の住民サービスの準備を。
- ◎「ほっとワークエドがわ」の機能強化を。
- ◎区民施設の更なる効率的運営、サービス向上への創意工夫を。
- ◎区民プール、各学校のプールに新浄化装置の導入を。
- ◎臨海球技場にゲートボールとフットサル兼用コートの設置を。
- ◎「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」を通して、新たな産業育成のための努力を。
- ◎防犯パトロールカーに消火器の積載を。
- ◎エコセンターの機能及び内容の充実を。
- ◎資源ごみ抜き取りの不正を防止するために集団回収事業の充実に最大限の努力を。



- ◎休日・夜間診療の空白時間の解消と固定式診療の拡充を。
- ◎東京臨海病院に透析機器増設の働きかけを。
- ◎乳がんのマンモグラフィー検診の導入と子宮がん検診の対象年齢の引き下げを。
- ◎特養ホームの増設とショートステイ、デイサービスの充実を。
- ◎高齢化の進展に伴い、実効性ある熟年者の総合相談窓口の設置を。
- ◎乳幼児と親が気軽に集える広場や子育て支援を行っている団体に行政として支援を。
- ◎京成小岩駅南口にエレベーターの設置を。
- ◎バス路線未整備地域にミニバス導入努力を。
- ◎耐震補強工事のための融資拡大、または助成等の支援策の実施を。
- ◎都営江戸川二丁目団地建て替え工事の早期着工を。
- ◎違法駐車対策の徹底。
- ◎JR小岩駅周辺の放置自転車対策徹底と駐輪場設置計画の実現を。
- ◎明和橋等の橋梁下が通行できない箇所は照

明を設置し通行可能に。◎学校における情報教育の特段の推進を。◎科学教育センターの更なる充実を。◎教職員の名札着用を。◎防犯ブザーの貸与または配布の検討を。◎学校給食調理業務の民間委託は、給食内容の充実と衛生面に万全を期して進めること。◎給食費値上げの理由と本区の公費負担の特別長を保護者に対し十分に説明すること。◎各種納付金のコンビニ納付実現に努力を。◎ケアマネージャーの公平性、中立性の確立のため、適正な対応を。

**市民クラブ・ネット民主無所属 (賛成)**

平成16年度は、未だ見通しの立たない経済状況に加え、国の「三位一体改革」や都の「第二次財政再建推進プラン」などの動向から、本区の今後の歳入に一段と厳しい影響があるものと予想される。一方、歳出面では、生活保護費を中心に、ここ数年毎年10%程度の上昇が止まらず、区の財政を更に圧迫している現状がある。このように厳しい状況の中、区長は予算案を通して、「次世代に向けて未来を切り拓く、新たな進路を探求していかなければならない。」また、「これまでの改革の成果を生かし、健全財政のもとで、区民が切実に望む施策を的確に展開する予算として提案するものがあります。」とのメッセージを強調している。私たちは、本予算案を検討した結果、まさに、全体の予算と本質の流れは、メッセージにふさわしいものであると判断し、各会計歳入歳出予算案に賛成する。



【主要要望】 ◎家庭内保育を支援する施策である「子育てひろば」は、区民による自主団体やNPOなどの運営の長所を吸収しつつ、常に利用者の立場を第一にした運営の改善を求める。

**日本共産党 (反対)**

平成16年度予算を次のような観点から慎重に検討を行った。第一は、区民のくらしを守ることを第一に位置づけているか、第二は、行政の基本姿勢

から対応可能である。【主な反対理由】 ◎子どもや保護者、地域の住民にとって保育サービスの低下につながる保育士削減は容認できない。すくすくスクール内学童クラブについて、学童クラブ専用の部屋の確保やおやつの実施など保護機能の充実を否定する姿勢。 ◎区長の「全職員の七割を占める保育、教育、現業などは将来、民活に置き換える」という方針は、区民にとって住民サービスを危うくする重大な発言である。 ◎30人学級へ消極姿勢。 ◎住民基本台帳ネットワークシステムの運用について、個人情報を守るための積極的な姿勢を示さないこと。 ◎福祉や教育への国庫補助負担金の削減を容認する姿勢。また、都の財政再建を理由に、補助金の全面的な見直しに反対しない姿勢。 ◎国保保険料は区民生活の厳しい状況での引上げであり、反対する。



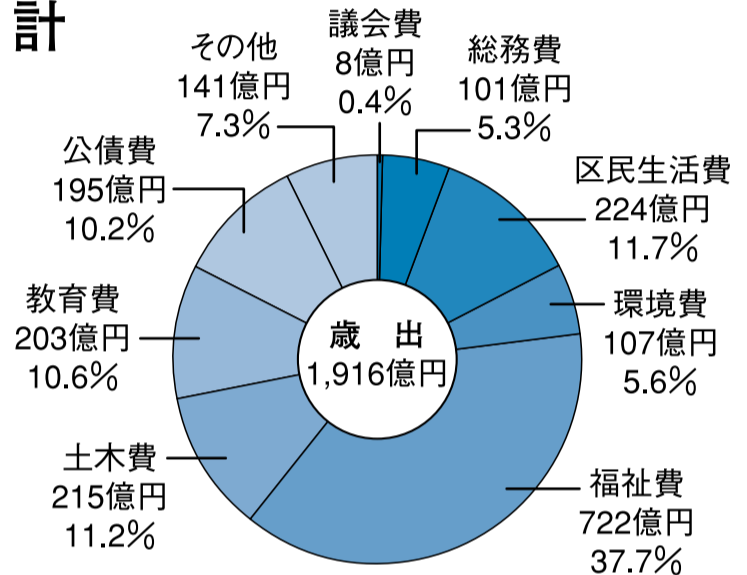
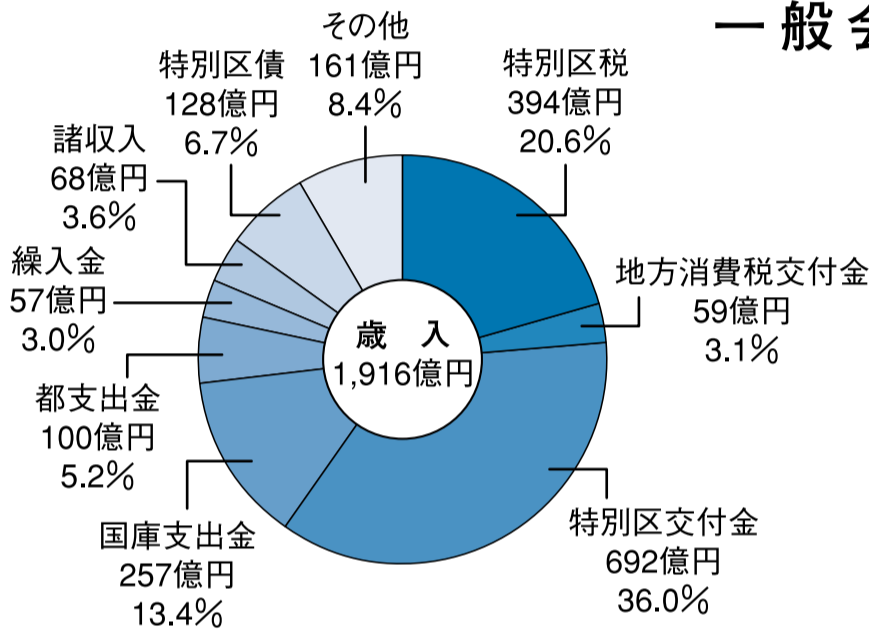
# 平成16年度 各会計歳入歳出予算のあらまし

## 会計別予算の規模

区分	16年度	15年度	増減率
一般会計	1,916億1,904万5千円	1,779億2,609万円	7.7%
国民健康保険事業特別会計	569億2,641万1千円	540億4,096万2千円	5.3%
老人保健医療特別会計	341億372万2千円	360億5,059万7千円	△5.4%
用地特別会計	2億6,174万5千円	2億7,027万2千円	△3.2%
介護保険事業特別会計	193億197万5千円	179億9,840万4千円	7.2%
合計	3,022億1,289万8千円	2,862億8,632万5千円	5.6%

◎ 一般会計予算には、平成7・8年度減税補てん債の借り換え一括償還分107億250万円(歳入「特別区債」、歳出「公債費」)が含まれています。これを除くと実質1.7%の増加率になります。

## 一般会計



※ 金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。構成比は千円単位での比率です。

## 主な新規事業・重点事業

### 未来を担う人づくり

子ども家庭支援センターの開設【新】	3,724万円
すくすくスクールの運営・開設〈すくすくスクール運営費〉	2億9,082万円
私立保育園の定員枠の拡大〈私立保育園等委託費〉	42億6,059万円
認証保育所の新設〈認証保育所助成費〉	5億4,955万円
私立高等学校、私立大学等入学資金融資あっせん(対象に留学を追加)	636万円
ハロー先生派遣制度	2,323万円

### 学びと協働による区民文化づくり

江戸川総合人生大学の開学・運営【新】	1,470万円
東 西地区区民施設の建設【新】	10億8万円
男女共同参画を推進するための計画づくり【新】	68万円
青少年の海外派遣事業「青少年の翼」	2,492万円
(仮称)青少年の平和大使派遣事業【新】	325万円

### いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

西健康サポートセンターの移築【新】	2,000万円
スポーツ施設予約システム【新】	1,790万円
障害者(児)歯科診療所の開設・運営【新】	1億7,585万円

### 区民参加による環境づくり

エコセンターの開設【新】	3,947万円
安全・安心まちづくり運動の推進【新】	3,510万円

### 活力を創造する産業づくり

緊急経営安定化助成(利子補給)	4億5,271万円
産学連携・知的財産相談窓口の新設【新】	7億7,280万円
信用保証料の全額補助	

### 区民の暮らしをたよりに支えるまちづくり

土地区画整理事業	64億8,763万円
木造密集市街地の改善	5億7,560万円
都市計画道路の整備〈区施行〉	25億4,513万円
駅前広場・地下駐輪場の整備	15億9,929万円
マンホール対応型トイレ〈備蓄物資等〉	2,582万円

### 区民本位で効率的な区政運営等

公的個人認証システムの運用【新】	590万円
総合的文書管理システムの開発	1億1,467万円
「区税徴収嘱託員」の導入【新】	1,888万円

区議会だより編集委員会  
 ◎ 田 渡 すすが  
 ○ 田 渡 すすが  
 セバ 田 渡 すすが  
 タ 田 渡 すすが  
 勇 田 渡 すすが

あ と が き

区議会だより第166号をお届けいたします。本号は、平成16年第一回定例会の内容を中心に編集いたしました。これからもわかりやすく、親しみやすい紙面づくりを目指して、努力してまいります。

